



ら・し・さ 通信

2021(令和3)年 秋冬号(第38号)



ダイサギ

撮影：三谷巖

おもな内容

- イベントのご案内 「終活アドバイザー講座」「ら・し・さサロン(東京)」「オンラインセミナー」
- お役立ち情報 「送り付け商法についての法改正」「生命保険契約照会制度が始まりました」など
- NPO法人ら・し・さ 第19回総会報告 ●終活広場 「終活川柳」「終活体験談」
- 終活アドバイザー協会会員へのお知らせ
投稿募集、「Facebook」「LINE」「名刺・オリジナルグッズ」のご案内、地域サークル活動のご案内
「終活アドバイザー協会設立5周年記念講演会」報告

発行: **NPO 法人ら・し・さ** (終活アドバイザー協会)

理事長: 若色 信悟

〒103-0027 東京都中央区京橋 2-6-10 宝照ビル 3F

TEL: 03-6264-4655 (平日 10時~12時、13時~16時)

FAX: 03-6264-4656

E-Mail: kanri@ra-shi-sa.jp

ホームページ:



終活アドバイザー®

終活アドバイザー協会のメール・HP

E-Mail: info@shukatsu-ad.com

<https://www.shukatsu-ad.com>

感染症対策のため事務所機能を縮小していることから、**電話での対応を休止することがあります**

「NPO 法人ら・し・さ」は、人生の後半期に訪れる、介護、住まい、葬式、お墓、相続などの様々な心配ごと、特にお金の問題に関する情報を集め、整理して提供しています。皆さまの必要に応じてお手伝いするファイナンシャル・プランナー(FP)を中心とした団体です。2016年からは終活アドバイザー協会を運営しています。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会場開催のイベントは直前で中止になることもあります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。
動画配信サービスやオンラインセミナーなどをご利用ください。

《2021 年 12 月以降のイベント予定》

終活アドバイザー協会講演会・会員交流会(東京開催)

2022 年 9 月 開催予定



終活アドバイザー協会講演会・会員交流会(大阪開催)

2022 年 4 月 開催予定

終活講座(東京開催)/ オンライン同時配信(会員限定)と後日動画配信(公開)あり

第 44 回 2021 年 12 月 11 日(土)14:00~16:30

「デジタル終活の実務~PC・スマホの後始末~」

会 場: ワイム貸会議室 お茶の水 Room B

参加費: 5,000 円(会員は 3,000 円)

第 45 回 2022 年 2 月 開催予定

★オンライン同時配信については、会員へはメールおよび終アドHPの会員ページでご案内します

ら・し・さサロン(東京開催)

2022 年 1 月 21 日(金) 14:00~15:30

「終活腹話術と遺言書の書き方」

会 場: 飯田橋 東京ボランティア・市民活動センター 会議室 A&B

(飯田橋セントラルプラザ 10F)

参加費: 2,000 円(会員は 1,000 円)



終活アドバイザー協会会員のためのオンラインセミナー

「終活の基本と『ら・し・さノート®』の活用法」

会員限定・参加費無料

※毎月 1~2 回開催しています ※前半はセミナー(内容は毎回同じ)、後半は交流会です

【12 月の開催予定】12 月 19 日(日)10:00~ ・12 月 23 日(木)19:30~

「ら・し・さノート®と資格の活かし方」セミナー

会員限定・参加費: 1,000 円

・2021 年 12 月 18 日(土)19:30~ ※毎月 1 回、月替わりの講師によるセミナーを開催

終活アドバイザー協会会員の皆様へ 迷惑メール設定解除のお願い

上記イベントのご案内は、HPに掲載し、Facebook(FB)の会員グループや LINE、メールでもお届けしています。スマートフォンのメールを登録されていて、パソコンメールを受信拒否する設定になっている場合には、メールでお知らせをお届けすることができません。協会からのメール<info@shukatsu-ad.com>を受け取れるよう、スマートフォンの設定の見直しをお願いいたします。また、Facebook(FB)の会員グループや LINE の公式ページへの登録もご検討ください。

終活講座をパソコンやスマホで受講できます



過去の「ら・し・さ®」の終活講座を、ビデオ(動画)で受講できます(動画配信サービス)。

動画配信サービスは、「生活経済研究所®長野 家計見直しセミナー」(URL: <https://fpi-j.tv/>)のサービスのひとつ(3ch ら・し・さチャンネル)として提供されています。終活アドバイザー協会会員は割引価格で受講できます。非会員や退会された方、会費未納の方は会員価格でのご利用はできません。

3ch ら・し・さチャンネルサイト https://fpi-j.tv/category/3ch_rashisa

1. まずは「利用者登録」を行います

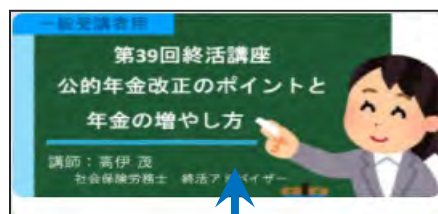


2. 登録が終わったら受講できます

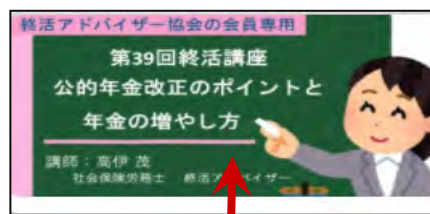
受講するには、各セミナーのバナー(下記の図ご参照)をクリックしてお申込みください。

- ◇ 受講可能期間は購入(申込み)から 14 日間、繰り返し視聴可能です。
- ◇ セミナー料金は動画ごとに設定。代金はクレジットカードによる決済となります。

終活アドバイザー協会会員の方は、「**会員専用**」から。 **申込みの取り消しや変更はできません。**



一般の方はこちらをクリック!



会員はこちらをクリック!

<受講できる終活講座>

- 「成年後見の基本と実務」
- 「学んで備える『認知症』」
- 相続・基礎講座シリーズ「相続の基本知識」「相続への備え 1」「相続への備え 2」
- 「金融の基本とグリーフケア」
- 「知っておきたい公的年金の知識」
- 「高齢者施設ってどんなところ？」
- 「公的医療保険と民間医療保険を知らう」
- 「財産の管理と円満な引き継ぎ～家族信託の活用事例～」
- 「介護保険の基本と改正情報」
- 「公的年金改正のポイントと年金の増やし方」
- 「終活に役立つ登記簿謄本の見方と活用法」
- 「相続の基礎～相続税はこうにして求められる～」
- 「やさしい生前贈与と相続対策の基本」

利用者登録や、WEB セミナーのご利用に関してご不明な点は、下記にお問い合わせください

家計の見直しセミナー | 生活経済研究所®長野の WEB セミナー

URL : <https://fpi-j.tv>

お問い合わせ(メール) : delivery@fpi-j.com

終活お役立ち情報

※終アド会員の方は、終アドHPの会員ページ内「お役立ち情報」もご利用ください

終活をすすめていくと、日々の暮らし、身の回りの品から不動産などの大きな財産、医療・介護・年金などの社会保険制度や税金、相続、お葬式・お墓とさまざまな事柄が関係します。こういった終活に関わる知識や経験を、「お役立ち情報」としてお届けします。

お役立ち情報 ①

「送り付け商法」についての法改正 ～消費者保護の強化へ～



2021年7月6日に特定商取引法が改正され、販売業者から一方的に送り付けられてきた商品は直ちに処分できることになりました。

商品を注文していないのに、一方的に商品を送り付けて代金を請求する、いわゆる「送り付け商法」に対して消費者保護を強化するための法改正です。

改正前は、①商品が到着した日から起算して14日が経過するか、②販売業者に引き取り請求をして7日間経過した場合にのみ、処分していいというルールでした。

①②の条件を満たさないうちに使用してしまったり、勝手に処分してしまったりした場合には、商品購入の意思があったとみなされて、代金請求の対象になっていたのです。

つまり、一方的に送り付けられた商品であっても、一定期間、保管しておかなければならないという消費者側に不利なルールでした。

今回の改正(2021年7月6日施行)で、販売業者は勝手に送付した商品の返還請求ができなくなります。さらに消費者が誤って代金を支払った場合でも、支払った代金について販売業者に返還請求できるようになりました。これらにより、実質的に送り付け商法のトラブルが減ることが期待されます。

消費者庁では、消費者向けのチラシを公開し、「商品は直ちに処分可能」「事業者から金銭を請求されても支払不要」「誤って金銭を支払ってしまったら、すぐ相談」と、一方的な送り付け行為への対応3カ条をまとめています。

「特定商品取引法が改正されました(消費者庁)」

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms202_210629_03.pdf

困ったときは…

消費者ホットライン ☎ (局番なし) 188



「生命保険契約照会制度」が始まりました

皆さんは親や配偶者などがどこの保険会社で保険を契約しているかご存知ですか？
そもそも家族が、保険に加入しているのか、していないのかさえ、わからないという人もいらっしゃるのではないのでしょうか？

家族が認知症になってしまったり、亡くなってしまったりしたときに、保険の加入の有無がわからなければ、保険金の請求はできません。せっかく加入していた保険が使えなければ、支払った保険料がもったいないですね。

実はこのような場合、これまでは、国内の生命保険会社 42 社（生命保険協会登録の保険会社数／2021 年 6 月 30 日時点）に対して、1 社ずつ連絡して保険の有無を確認するという気の遠くなる作業をするか、高額な費用を払って弁護士に依頼するしかありませんでした。

しかし、2021 年 7 月に、「生命保険契約照会制度」がスタートしました。一般社団法人生命保険協会が、同協会所属の生命保険会社 42 社に対して、保険契約の有無を調査してくれるというサービスです。この制度によって、保険契約の有無と加入している保険会社が簡単にわかるようになりました。



「生命保険契約照会制度について」

https://www.seiho.or.jp/info/news/2021/pdf/20210611_1.pdf

照会ができるのは、①照会対象者が死亡した場合や、②認知判断力が低下した場合、そして③災害により死亡もしくは行方不明になっている場合です。

またこの制度を利用できる人（照会できる人）は、紹介対象者の法定相続人や3親等以内の親族、法定代理人、任意代理人、および法定相続人の法定代理人や任意代理人などです。①～③のケースによっても異なります。

この制度を利用するには、照会者の本人確認書類や、戸籍謄本類などの必要書類のコピーとともに、メールや郵送で申し込みます。照会対象者 1 人につき税込み 3,000 円の費用がかかりますが、1 社ずつ確認していく方法に比べたら、安いものではないでしょうか。

契約の有無がわかった後は、契約のある保険会社に契約内容や手続きについて、直接尋ねます。ただし、死亡保険金受取人や指定代理請求人など、保険金の請求権のある人以外には契約の詳細までは教えてもらえない可能性もあるため、請求には時間や手間がかかることは覚悟しておきましょう。

保険契約の照会が容易になったとはいえ、必要なお金をすぐに受け取れなければ困る場合もあります。親や配偶者が元気なうちに加入している保険について尋ねておく、自分が加入している保険をエンディングノートなどに書くなどして、誰かに伝えておくことは重要です。



ら・し・さノート®を白紙のまま保管しないためのコツ



ら・し・さノートの書き方セミナーなどを受講された方なら、
「全部埋めなくても大丈夫」「書きやすいページから書きましょう」
というフレーズを聞かれたことがあるかと思います。

私自身が行う書き方セミナーでも、ら・し・さノートの4ページを
開いてもらい、「まずは、(すぐ書ける)自分の名前から書いてみましょう」とお伝えしています。で
すが、ノートを購入して、セミナーを受講して下さった方の中には、みごとに「自分の名前」しか書
いていない人もいらっしゃいます。

先日も、30人ほどを対象にら・し・さノート付の書き方セミナーを行いました。セミナーは事前ア
ンケートを配布し、項目に“エンディングノートを書いているか?”、“書いていない”と返答した人
には理由の記載をお願いしました。すると、書いていない理由で多かったのは、「きちんと書きた
い」、「まだ早いように思う」、「じっくり向き合って書く時間がない」、「必要性は分かっているが、書
くとなれば気が重い…」などのご意見がありました。

確かに、ら・し・さノートをぱらぱらとめくってもらくと、自分の気持ちに向き合わないと書けない
ページがあります。例えば、30～31ページの延命治療や臓器提供に関する私の願いや、32～34
ページの葬式やお墓の希望、35ページの家族と親しい人へのメッセージなどです。そこは考えを
しっかりまとめて書きたいページです。ですが、これらのページをいざ書こう!と思うと一気にペ
ンが止まってしまいます。ですので、ら・し・さノートを開くときは、感情が入らないページから書い
てもらうのがコツなのです。しかも、そのページこそが自分にとっても家族にとっても重要度が高
い情報となります。

そもそも自分の情報を家族は意外に知らないもの。もしかしたら、自分自身も忘れてしまうかも
しれません。17～19ページの貯蓄や保険など資産に関することや25ページの借入れ(クレジッ
トカードの種類)、27ページの別荘などの不動産、29ページのその他の資産などがそのページに
当たります。

と、いうことで、ら・し・さノート付の書き方セミナーを実施したときは、感情の入るページと入ら
ないページがあることをお伝えしたうえで、先に、感情の入らないページから記入してもらいまし
た。資産のページがそれにあたるので、17、19、25ページに取引している銀行名、生命保険会
社、ネットバンキングがある人は銀行名、クレジットカードを持っている人はその種類などわかる
範囲で書いてもらったのです。その結果、セミナー後のアンケートでは、「一緒に書けて良かつ
た」、「2年以上白紙だったノートが進んでよかった」、「書いたことでいろんなことに目処がつい
た」などというご意見を、たくさんいただきました。

せっかく買ったノートが白紙のまま保管されてしまわないよう、感情を抜きにして書けるペー
ジを先に書いてもらうのがコツですね。

(鹿野佐代子)

ら・し・さノート® ～ 書く項目と伝えておきたいこと ～

ライフプラン	<u>あなたは今、人生のどのあたりですか？</u> ⇒ 2～7 ページ
人	<u>誰に連絡をとってほしいですか？</u> ⇒ 8～9、38～39 ページ ・ 病気の時、危篤の時、葬式の時 ・ 家系図 ・ 住所録、名簿 ・ メッセージ
医 療	<u>病気やケガの時どうしてほしいですか？</u> ⇒ 11、30～31 ページ ・ 薬・主治医 ・ 延命治療 ・ 臓器提供
介 護	<u>意思表示できなくなる前に何を伝えますか？</u> ⇒ 10～11、31 ページ ・ 介護してほしい人 ・ 介護されたい場所 ・ 費用について
葬式・お墓	<u>どのように見送られたいですか？</u> ⇒ 32～34 ページ ・ 形式 ・ 宗教 ・ 依頼先 ・ 遺影 ・ お墓のこと
資 産	<u>大切な財産をどうしますか？</u> ⇒ 14～29、35～37、40 ページ ・ 金融商品 ・ 不動産 ・ 骨董品 ・ 形見分け ・ 寄付 ・ 負の財産 ・ 遺産相続 ・ 遺言書
処 分	<u>自分の情報等の処分について</u> ⇒ 40～41 ページ ・ 写真、手紙、Facebook、ブログなど
ペット	<u>大切なペットについて</u> ⇒ 31、34 ページ ・ 面倒を見てほしい人 ・ ペットフードについて ・ かかりつけ病院 ・ お墓

(9ページから続く)

◇終活講座(東京開催)

・「公的医療保険と

民間医療保険を知ろう」

講師…豊田真弓

・「財産の管理と円満な引き継ぎ

～家族信託の活用事例～」

講師…廣木 涼

・「公的年金改正のポイントと

年金の増やし方」

講師…高伊 茂

・「終活に役立つ

登記簿謄本の見方と活用法」

講師…大久保啓介

★右記の講座は、動画配信により

受講できます(P3参照)

◇終活講座(地域開催)

・「終活講座in仙台」

『ら・し・さノート®』を

このように活用しよう」

講師…高伊 茂

『人生100年時代の

終活アドバイザーの役割』

講師…廣木智代

・「終活講座in名古屋」

『おひとり様の終活の実際』

講師…山田静江

『これからの時代にかかせない

「デジタル終活」を学ぶ』

講師…原 浩也

・「終活講座in福岡」

『高齢期の財産管理』

講師…久恒恵美子

『ら・し・さノート®』を

このように活用しよう」

講師…高伊 茂

◇終活セミナー(地域開催)

・「終活セミナーin鹿児島」

『ら・し・さノート®』を

このように活用しよう」

講師…高伊 茂

『縁起でもない話をしていますか』

講師…関野信一

◇会員限定無料オンラインセミナー

・「終活の基本」

講師…高井 豪

講師…廣木智代

☆月2～3回、計26回開催

◇会員限定有料オンラインセミナー

・「幸せな終活と

ら・し・さノート®の書き方」

講師…竹村真知恋

・「幸せを招く

エンディングノートの書き方」

講師…吉田公子

・「ら・し・さノート®の

書き方と活かし方」

講師…池田賢一

・「最幸の人生の見つけ方

～夢いっぱい」

エンディングノート」

講師…佐藤名々美

・「ら・し・さノート®を活かした

親子コミュニケーション」

講師…住山志津枝

・「いきいきと生きるための終活と

ら・し・さノート®の書き方」

講師…松本真由美

・「ら・し・さノート®を活用した

心とキャリアのメンテナンス法」

講師…倭 和代

◇ら・し・さサロン

・「高齢のおひとりさまの

終活情報とQ&A」

講師…飯島 守

◇終活アドバイザー協会講演会

・終活アドバイザー協会講演会

〔大阪開催〕

『家じまいの作法

～生前整理の進め方～』

講師…屋宜 明彦

『今を生き生き生きるための

終活とエンディングノート活用』

講師…松本真由美

★「東京開催」は中止しました

◇終活意識全国調査の実施

①調査目的…人生後半期の暮らしと

マネーに関する意識変

容を促進する

②調査方法…インターネットリサーチ

③調査対象…全国の20歳以上の男女

(マクロミルモニター会員)

④調査人数…3096名

⑤調査期間…2020年11月25日～27日

⑥調査委託…(株)マクロミル



NPO法人ら・し・さ

第19回総会報告

令和3年7月17日に、NPO法人ら・し・さは、第19回通常総会を開催しました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中の開催となったため、会場への参加は開催準備の理事等少数に限定し、総会はYouTubeによる同時配信で行われました。

総会では、令和2年度の事業報告・収支報告、令和3年度の事業計画、収支計画等について報告・審議され、すべて承認されました。今期も引き続き、理事11名と監事2名で運営します。

NPO法人ら・し・さの会員は、年度末で92名。全国各地で開催している終活講座や終活セミナー、オンラインセミナーで、運営や講師として協力をいただいております。

事務局ではコロナ禍で在宅勤務などを取り入れながらも、ノート類の発送や会員管理、皆様のお問い合わせ等にスムーズに対応できるよう頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度活動報告（抜粋）

（令和2年6月1日）

令和3年5月31日）

新型コロナウイルス感染症のまん延により、令和2年度は多くのイベントが中止になりました。その対応策として、オンラインによるセミナーや交流会を開催し、オンライン開催は年間44回に及びました。

NPO法人ら・し・さの令和2年度の事業の特徴をまとめれば次のようになります。

1 終活意識全国調査の実施および発表会開催

（NPOとしての社会貢献活動として終活の全国意識調査を行い、調査結果の発表会をオンラインにて複数回行った）

2 終活アドバイザー協会の会員数の増加

3 オンライン方式のセミナーやイベントを年44回実施

4 事務局の安定的稼働

（在宅勤務の導入。理事によるボランティア運営から、徐々に事務局による運営へと移行）

◇終活アドバイザー協会事業

年度末の終活アドバイザー協会会員数は正会員を含め4,617名です。

会員の入会後の継続的教育研修および新規受講の促進として、また、一般の方向けに、終活講座や終活セミナー、ら・し・さサロンを東京および各地で開催しています。こういったイベントへ終活アドバイザー協会会員の参加者が増えており、会員の活動や意見などを聞き、会員同士の交流を深める場となっています。

地域や時間帯の都合で受講できない会員向けに、東京開催の終活講座については、リアルおよび後日の動画配信（パソコンやスマートフォンで受講）を行っています。また会員対象のオンラインによる終活の基本セミナー（無料）を開催し、レジュメは自由にダウンロードできるようにしました。

このほか、終活アドバイザー協会会員向けサイトでは、終活分野の制度改正やトピックスを「お役立ち情報」として提供しています。

◇ら・し・さノート&活用ガイド&支援ハンドブック普及活動

「ら・し・さノート[®]」は、一般向けのほか、終活アドバイザー講座の副教材として、また終活アドバイザー協会入会者への無償提供、会員からの受注があり、発行部数は年間1万2000部を超えています。

正会員や終活アドバイザー協会会員によるセミナー等での利用により、活発なエンディングノートの普及活動が行われています。

また、「ら・し・さノート[®]」、「活用ガイド」、「親亡きあとの支援ハンドブック」は、増刷時に法や制度の改正による改訂やデータの更新を行っています。

・ノート、ガイド・ハンドブック
合計で、2万3826冊出庫

・マスメディアへの取材協力

・オリジナルエンディングノートの執筆・監修・コンテンツ提供

〔提供企業〕JAバンク、七十七銀行、ゆうちょ銀行、明治安田生命、住友生命など〕

（8ページへ続く）

NPO 法人ら・し・さ 令和2年度「活動計算書」および「貸借対照表」

活動計算書

自 令和2年6月1日 至 令和3年5月31日

特定非営利活動法人ら・し・さ

(単位:千円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費		36,004	
2 受取寄付金		11,408	
3 事業収益他		10,886	
経常収益合計			58,298
II 経常費用			
1 事業費			
①事業売上原価	5,880		
②役員報酬給料	9,640		
③経費	12,518		
事業費合計		28,038	
2 管理費			
①役員報酬給料	7,574		
②経費	10,472		
管理費合計		18,046	
経常費用合計			46,084
当月収支差額			12,214
前期繰越収支差額			15,036
当期収支差額			27,250

貸借対照表

令和3年5月31日

特定非営利活動法人ら・し・さ

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
①現金・預金等	31,935	①未払金・預り金	6,865
II 固定資産		負債合計	6,865
①有形固定資産	402	純資産の部	
②無形固定資産	789	①前期繰越正味財産	15,036
③投資その他	989	②当期正味財産増加	12,214
		純資産合計	27,250
資産合計	34,115	負債純資産合計	34,115

※ NPO 法上では最低限、貸借対照表の公示を要求しています。詳しい貸借対照表は「NPO 法人ら・し・さ」のホームページをご覧ください。

終活広場 終活アドバイザー協会会員からの投稿ページ



終活アドバイザー協会会員からの投稿を掲載します。皆様の作品や体験談の応募をお待ちしています。



終活川柳

断捨離と 捨てるが迷い また戻す	(埼玉県 チェリー)
言葉では 言えぬが書ける ありがとう	(埼玉県 チェリー)
言えないが 書こうか迷う 愛してる	(埼玉県 チェリー)
八十路でも 上が詰まって まだ逝けぬ	(東京都 匿名希望)
しゅうカツは どんな味かと 孫が聞く	(大阪府 二度づけ禁止)
撮影会 気に入らないと 3回目	(埼玉県 遺影いのち)
観光地 絶景バックに これ遺影	(埼玉県 遺影いのち)



終活体験談

エンディングノートは心もつなぐ

埼玉県 エイチエイ

この歳になると、まわりで亡くなる友人・知人もちらほらと出てきます。4、50代の働き盛りで亡くなった本人も残念だったでしょうが、遺された家族はさらに辛いと思います。

昨年の4月に、以前かわいがっていた部下が亡くなったという連絡を受けました。1年前から闘病生活をしていたことは知っていたので、とても悲しくお葬式にも駆けつけたかったのですが、ちょうど初めての緊急事態宣言中だったため、ご家族だけで見送ったとのことでした。

緊急事態宣言が明け、6月末にようやく彼のお宅に伺うことができました。お線香をあげた後に奥様と話をしていると、彼の遺品を整理していたら机の引出しからエンディングノートが出てきたそうです。

そこには、財産などに関するひととおりの記述があり、最後に「困ったことがあったらエイチェイさん（私のこと）に相談するように」と書いてあったとのこと。

そのノートは、以前私が彼にプレゼントした「らしきノート」でした。その頃は彼も元気だったのですぐに書いたかは定かではありませんが、どこかの時期に家族のために書いたのでしょう。

私の名前が書いてあったことを聞いたときは、半分は嬉しく、半分はやられたと思いました。彼はたいへん優秀な部下でしたが、上司を使いこなすのがとても上手で、気がつくといつの間にか彼の仕事の尻ぬぐいをさせられていたことがよくありました。

「こいつ、最後まで人を使いやがって…（苦笑）」

その後、奥様から相続手続きについて相談があり、お手伝いをしました。

そのときに、奥様がこのような話をしてくれました。

「彼がエンディングノートを書いておいてくれて良かったです。亡くなった後の整理もスムーズにできたし、何よりも彼の想いを感じました。家族のためにノートを遺してくれた彼をますます尊敬しました。」 エンディングノートは本当に家族の心をつなぐと心に沁みた一言でした。

「終活アドバイザー協会会員のページ」です

1. 『終活広場』に、会員からの投稿を募集します

■応募要領

- ・エッセイは 800 字以内、川柳はひとり3句まででお願いします
 - ・氏名の掲載を希望しない場合は、その旨お書きください(ペンネームも可)
 - ・投稿が多数の場合、掲載できない作品がありますがご容赦ください。
- ⇒ 事務局まで郵送いただくか、『kanri@ra-shi-sajp』宛てにメールでお送りください

■次号掲載の締切 2022(令和4)年2月28日(月)

■採用された方には、500 円の QUO カードを謹呈します。(複数採用の場合も1枚)

2. スマートフォンのメールアドレスの設定をご確認ください

終活アドバイザー協会からのお知らせの多くは、メールで行っています。協会に登録されているメールアドレスがスマートフォンのものであった場合、PC メールを受信しない設定になっていると、協会からのお知らせをお届けすることができません。『info@shukatsu-ad.com』からのメールを受信できるよう、設定の変更をお願いします。

メールアドレスなど連絡先が変わったときは、すみやかに協会までお知らせください。

3. Facebook(FB)の会員限定グループに参加しませんか？

Facebook に終活アドバイザー協会会員限定のグループがあります。「終活アドバイザー」で検索してください。登録時には会員番号などをお尋ねして会員であることの確認をさせていただきます。グループ内では、全国の終活アドバイザーとの意見や情報の交換ができます。また、当会主催の各種イベントも、ご案内しています。

4. 終活アドバイザー協会 公式 LINE を開設しています

終活アドバイザー協会会員向けの公式 LINE ページがあります。「資格の更新・年会費」「登録事項の変更」「サークルについて」など、お問い合わせの多い項目についてご案内しています。また「オンラインショップ」や「セミナー・講座」についても、確認することができます。HP の「会員ページ」をご確認ください。

5. 名刺・オリジナルグッズのご案内

終活アドバイザー協会では、ビジネスに活用いただける「名刺」「のぼり」「クリアフォルダー」などのオリジナルグッズをご提供しています。

お申込みは「会員ページ」の【オンラインショップ・終活アドバイザー協会】からお願いします。



終活アドバイザー協会 地域サークルのご案内



全国各地の終活アドバイザー協会会員の学びと交流の場として誕生したのが「地域サークル」です。2021年10月末現在、各地に15の地域サークルがあります。

コロナ禍で集まれなかったというグループもありますが、オンラインなども活用して活動しています。今号では新サークル「終アドからっ風ぐんま」の活動についてご案内いたします。



No.	地域	サークル名	No.	地域	サークル名
1	福岡県・近県	終アド九州	9	愛知県・全域	終アド愛知
2	富山県・全域	富山ミラー樹	10	大阪府・全域	終アド浪花
3	埼玉県・東部	終アド埼玉東	11	沖縄県・本島	終アド沖縄
4	岐阜県・近県	終アド岐阜	12	東京都	終アド東京
5	神奈川県・横浜	終アドかながわ	13	奈良県	終アド奈良
6	神奈川県・横浜	終アド横浜	14	広島県	終アド広島
7	栃木県・全域	終アドとちぎ一期会	15	群馬県	終アドからっ風ぐんま
8	兵庫県・神戸尼崎	終アド兵庫南			

※各サークルの連絡先は、終活アドバイザー協会 HP の会員ページ内でご確認ください

<新サークルのご紹介です>

15. 終アドからっ風ぐんま

群馬の郷土かるた『上毛かるた』に、「雷(らい)と空っ風義理人情」とうたわれる群馬名物“からっ風”を、サークル名にしました。

夏は雷、冬は強風と乾燥の厳しい風土、しかし先人たちはそんな自然を愛し、義理と人情で支えあってきました。

私たちもそんな先人たちにあやかって、地元を愛し、真心で地元の方々に寄り添える終活アドバイザーでありたい。そんな願いをこめました。

現在、LINE グループでの交流と、月に一度のオンライン定例会を行っています。2回目となった9月の定例会では相続についての講義を行い、有意義な時間となりました。定例会はこれからも継続し、メンバー相互の学びを深めていきます。

また将来的にはセミナーの開催なども検討していこうと考えています。

群馬在住・在勤など、群馬にご縁のあるみなさんのご参加を、お待ちしております



上毛かるた



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」と仲間たち

「終活アドバイザー協会・地域サークル仲間探しの掲示板」を SNS でオープンしています。

この掲示板は、次のようなときに活用ができます。

■地域サークルを立ち上げたいとき

■地域サークルのメンバーを募集したいとき

詳しくは、終アド HP 会員ページ内の「会員へのお知らせ」で、ご確認ください。

終活アドバイザー協会設立 5 周年記念講演会

2021 年 9 月 4 日(土)14:00～16:40

※NPO 法人ら・し・さの HP に詳しい報告があります

毎年 9 月に開催している終活アドバイザー協会講演会ですが、昨年(2020 年)は、コロナ禍によるやむなく中止になったため、今年は YouTube ライブによるオンライン配信の形式で行われました。

第1部:「これからの時代に求められる承継寄付・遺贈寄付について」

～メッセンジャーとしての重要な役割～

講師:三浦美樹氏(一般社団法人日本寄付協会 代表理事・司法書士)

日本承継寄付協会は、自分が亡くなった後にまで思いを繋ぎ、お金の循環、地域内でのお金の循環を支援し、承継寄付の間口を広げ、「おもいやりのお金が循環する社会」を目指している団体です。代表である三浦氏に遺贈寄付・承継寄付についてお話いただきました。

＜遺贈寄付・承継寄付とは？＞

遺贈寄付とは、亡くなったときに残った財産の一部または全部を遺言等によって、社会課題解決のために使ってもらうよう、公益団体や学校法人などに寄付することで、承継寄付とは、遺贈寄付に限らず、生前からの寄付も含めた想いを次世代につなぐ寄付のことです。

＜遺贈寄付は少額でもできる＞

「寄付」というと、100 万円ぐらいいないと恥ずかしいとか、お金持ちがする制度と考えられがちですが、遺贈寄付を受ける団体にとっては数万円でも嬉しいものです。例えば、子どもを支援する団体に 10 万円を寄付することで貧困家庭の子どもが利用する居場所の食費 300 人分になり、学習会で利用する教材 50 人分になります。自分がこういうことをしたかった、こういう思いがあったということを残しつつ、社会的な役割も担えます。寄付先によっては、寄付者限定の特典もあります。

＜遺贈寄付の現状＞

一般社団法人日本寄付協会が 2020 年に行った「遺贈寄付についての実態調査」によると、「遺贈寄付」という方法を知らない人が多くいるということ、遺贈寄付の方法を知ると強い関心を示す人が多いということがわかります。

しかし、「手続きが複雑」で「どこに相談してよいかわからない」といった理由で何もしていない人も多く、遺贈寄付の遺言は1%にも満たないのが現状です。相続や資産運用の実務家で遺贈寄付の対応ができる人が少ないということも課題です。

＜遺贈寄付の基礎知識として＞

遺贈寄付を行う上で遺言書の作成が一番確実ですが、それ以外にも方法があります。死因贈与契約による寄付、生命保険による寄付、信託による寄付、相続財産からの寄付、香典からの寄付などです。これらもすべて遺贈寄付です。少額からできる遺贈寄付・承継寄付を多くの人に知って欲しいと思います。

＜終活に関係する私たちだからこそできること＞

遺贈寄付・承継寄付は、人生の最後までお金の行き先を考えられて、自分が大事にしている思いの承継もでき、社会貢献としても大きな役割があります。

日本ファンドレイジング協会の寄付市場の資料では、アメリカの個人寄付に比べて日本の個人寄付の現状は 40 分の 1 ですが、法人寄付はアメリカの 3 分の 1 でした。経営者は、社会貢献の意味合いが大きい寄付に興味を持っているそうです。

とはいえ、遺贈寄付のような方法がよくわからないという人も多く、相談できる機関も少ないので、まずは、このような活動があるということを広めていくことが、終活に関わる私たちができることです。

第 2 部 「今どきのお墓事情」～海洋葬・永代供養墓・納骨堂・埋蔵施設～

講師：三谷ますみ氏（NPO 法人ら・し・さ理事 終活アドバイザー）

NPO 法人ら・し・さ（終活アドバイザー協会）では、終活に関するさまざまな体験会や見学会を「らしさサロン」として企画・運営しています。理事の三谷より、過去のサロンの活動を振り返りながら最近のお墓事情について報告しました。

＜超高齢社会と世帯の変化から＞

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」によると、今後単独世帯は増え続け、2040 年には 65 歳以上の高齢者単独世帯の割合が 4 割を超える予測です。高齢のおひとり様が増えていることで、自分が亡くなっても見送る人がおらず、墓守や後継ぎがいらないという問題が起こっています。

＜お葬式、埋葬・供養、お墓はどうなるのか＞

家族も参列者も亡くなる人と同じように高齢化するため、一般葬の参列者が激減し、また家族にも負担がかかるため、ここ数年で家族葬が増えています。さらに、最近ではお通夜を行わない 1 日葬や直葬なども増えています。埋葬・供養についても、永代供養対応のお墓や納骨堂が増えています。お墓がいらない、自然葬（樹木葬や海洋葬、宇宙葬）を選ばれる方もいます。

＜今どきのお墓＞

お墓は遺族の埋蔵場所であり、先祖供養、故人をしのぶ場所でもあります。これまでは、先祖代々受け継がれてきた墓に参り、子や孫の成長を報告したり、故人をしのびながら自分を見つめなおしたりする場所になっていました。

しかし、墓の跡継ぎがいなかったり子や孫に負担になるからという理由で、最近は、永代供養墓、立体埋蔵施設、合祀墓、共同埋葬墓、納骨堂、樹木葬などの跡継ぎ不要のお墓を選ぶ人も増えています。墓を持ちたくないという人には自然葬（海洋散骨、宇宙葬）などもありますし、ペットと一緒に入れる墓を選ぶ人もいます。いろいろな形態の墓を知るため、都営谷中霊園見学会や小平霊園の視察の様子をビデオや写真で案内しました。

実際に行ってみてわかることは多いので、いろいろなお墓を見学してみることをおすすめします。終活アドバイザー講座のテキストにも、イラストを用いて詳しく説明していますので、それを参考にしながら「らしさノート®」に、ご自身はどのようなスタイルで行うのか考えて書いておいていただければと思います。

「ら・し・さノート®」・「活用ガイド」

「親亡きあとの支援ハンドブック～知的障がいの子がいる親のために～」

NPO 法人ら・し・さ では、「ら・し・さノート®」及び「活用ガイド」、「親亡きあとの支援ハンドブック」を発行しています。ご希望の方は下記の方法にてご購入ください。

ら・し・さノート®

これまでの人生を振り返り、これからやりたいことを考えながら、財産を把握し、人生の後半期のことを書きとめておくためのノートです。医療や介護が必要になったときの希望や、葬式やお墓のことを記入するページもあります。自分史ノートやエンディングノートとしての役割を持たせることもできます。(全 46 頁)



550 円
(税込み)

活用ガイド

ノートを書くときの手引きとなるものが欲しい、という声にお応えして作成した「活用ガイド」は、事例とアドバイス、お役立ち情報満載のガイドブックです。(全 48 頁)



770 円(税込み)

親亡きあとの支援ハンドブック

知的障がいのあるお子さんがいる親御さんが、お子さんやそのきょうだいのために何をしておくべきか、考えて行動するときの道しるべとなる一冊です。(全 48 頁)



880 円(税込み)

「ノート」&「ガイド」セット 1,320 円(税込み)
ノートとガイドが収納できるクリアファイルが付きます

【ご注文方法】

ら・し・さ のHPから、ご注文いただけます。HPからの注文では支払方法の選択ができます。

◇クレジットカード払い(手数料無料) ◇コンビニ払い・銀行振込など(手数料負担あり)

FAX、メール、ハガキによるご注文では、以下を明記してください。この場合、代金と送料は同封の郵便振替用紙でお支払いください(払込手数料の負担あり)。送料は一律 300 円です。

1. お名前
2. ご住所(送付先)
3. 電話番号
4. 必要冊数 (ノート●冊、活用ガイド●冊、ノート&ガイド●セットなど)
5. どこでノートのことを知りましたか
6. 年代(「60 代」など) ※6 は差支えなければお書きください



※終活アドバイザー協会会員の方が、会員特別価格(ノート 10 冊以上)で購入される場合には、専用紙でご注文いただくか、会員番号をお伝えください。この場合の送料は 500 円です。

編集後記

日本で新型コロナウイルス感染症が確認されたのは 2020 年 1 月 15 日でした。それ以来ウィズコロナの生活が続いています。密接、密集、密閉の回避はリスク管理からも定石であり、マスク着用はスーパーコンピュータが飛沫予防の効果を証明しました。

やがてワクチン接種で急速に収束化しましたが、次の第 6 波が予測を許さない状況です。私たちの生活は一変し、自重の生活を強いられ、心の病を懸念するまでに至りました。

徳川家康は「不自由を常と思え」という名言を吐きましたが、400 年前の偉大な人物の言葉が説得力をもつ不思議な時代を経験しました。

しかし、コロナ禍は思わぬところで新しい世界をもたらした。仕事のスタイルを一変させ、オンラインによる情報伝達が当たり前になりました。モノが溢れ人間の欲求は減退し、成長による分配はもうありえないような風潮の日本でしたが、何をか言わんや環境の変化に対応し新しいビジネスも芽生えています。

不撓不屈の精神で人間は限りない前進をしていくものです。(若色信悟)